

令和6年度第1回城東区区政会議（まちづくり部会）

日時：令和6年6月10日
19時30分～20時30分

○安川部会長

それではまちづくり部会を始めさせていただきます。

まちづくり部会の部会長を務めさせていただきます、安川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

早速、部会の議論に入らせていただきます。

先ほど、本会で説明のあった、令和5年度城東区運営方針の自己評価に関して、委員の皆様のご意見をいただきたく存じます。

まちづくり部会としましては、経営課題1「人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちへ」・経営課題2「地域で支え合う、安全で安心なまちへ」・経営課題5「区民の皆さんに信頼される区役所づくり」と市政改革プランに基づく取組みに関することを中心にご意見をいただきたいと思います。

ご意見のある方は挙手の上ご意見を、お願いいたします。

それでは何かご意見がありましたらどうぞ。よろしくお願いいたします。

○高平委員

何もなければ。

○安川部会長

はいどうぞ。高平さんね。

○高平委員

前回私ちょっと勉強不足で、避難場所が小学校だけだから、中学校もあってもいいんじゃないかという話をしたと思うんですが、よく見ればね、災害避難所に中学校も入ってるんですよ。ということは中学校も避難所ということになってます。それで皆さんご存じかもしれませんが電柱に、避難場所、丸々中学って書いてる場所もちょこちょこあるんです。ただちょっと私が問題にしてきたのは、普段、皆さんが避難場所っていうと大体小学校なんです。

小学校で避難するし、避難訓練もしてますけども、中学校と書いてあるんだったら中学に行く人もいると思うんです。

ただそのときに、受け付け側の方の体制が、できてないんじゃないかなあということで、蒲生の場合だったら、中学校と小学校の4校連絡協議会とかで1回この話をしてね、例えば小学校で避難所開設ってなっても、だんだん増えてきたら、順番に何人か中学校に行くと、中学校に行かないと、開設したときに、中学校の前でウロウロして、ここが避難所って書いてあるやんってなりますんで、そういうトラブルにならないように、その辺の打ち合わせですね、こんなこともあるよと。

多分ねみんな避難所ってね。小学校というイメージがあるんでね、小学校いっぱいになったら中学校、いっぱいになったら高校、大学というふうにもこういうことが、本のこういうところで書いてますんでね。避難場所の順番は。ってことはそこまでやっぱりあり得ると。昔の話ですけど私は中学校のPTAやってたときに、こういう防災関係、全く触れてないんです。

訓練したらどうしようとか、何しようとか、イベントとかいっぱいありましたけど、やっぱり避難訓練とかそういうのは全部小学校がやっているもんやというイメージがね、ずっとあって私もずっとそのままおったんだけど、やっぱり見るとやっぱり、あってはいけませんけど大きな災害があったら、小学校では当然クリアできない、で次中学校に行かないといけないと。

ただこれ失礼ですけども、でもそれするのに、区役所で行ってくれますか言うてもね多分難しいと思う。

もう小学校で手一杯のうえに中学校も行ってということになってきますんでやっぱりその小学校区、特に中学校区の中で、ちょっとその話し合いだけね、細かいとこまで詰めなくてね。

ただ、いっぱいだったら、蒲生の場合は成育と榎並と聖賢の3小学校があって蒲生中学校とあるんですが。蒲生中学校に何人か行く、そういう体制だけ作っといたら、話し合いの中でね。

こうすると中学校に行行って言うたら、中学のほうに行って、することは多分そんなに変えることないと思う。受付して、ここへ行ってくださいと。

そういう形の打ち合わせをしたらどうかなというふうにちょっと思いました。

以上です。

○藤原防災・防犯担当課長

ありがとうございます。

前回もあのお話ですね、同じような内容で、言っていたいています。

○高平委員

すいません、あんまり見てなかったんでね、これはっきり書いていたんですね。

○藤原防災・防犯担当課長

こちらの方にも示していただいたように、避難所の開設準備は小学校中学校高校の順番になりますということで書かせていただいています。

おっしゃるように、職員もなかなかですね、実際、地震とかあった際にですね、すぐに駆けつけることができないって中で、まず小学校ですね、自主防災組織ですね、中心に避難所開設いただいて、対応いただいてというところで、考えておりまして、今蒲生中学校の、そういう話をしたらどうかということで、おっしゃっていただいたかと思うんですが、城陽中学校のですね、地域でも前回、同じようなご意見いただいて、城陽中学校の校区の、4小学校区になるんですけれども、ちょっと会議ですね、していただいていますね、どうしようかい

うところですね、お話いただいてるところではあります。

ただ 1 回お集まりいただいたんですけども、いきなり中学校も一緒に開けるというのはですね、地域的にもですねなかなか労力が要するところ、まずはですね、小学校を開設して、次に中学というような流れになるんじゃないかというところで、現在のところですね、ご検討いただいております。

○安川部会長

ちょっとよろしいですか。

董地域の場合は、小学校、中学校、産業大学付属高校、親愛と 4 つあるんですね。うちの場合は、小学校も中学校も鍵をお預かりしてます。産大さんも鍵をお預かりしてます。それから信愛さんは、24 時間警備員さんがいるということでお聞きしてます。うちの連合を 4 つに分けて、一時避難として中学と高校に避難するという形で分けてます。

ですからその分けた町会長さんが、各中学なり産大なり、親愛に行ってくださいと。

で、最終的にできたら、あくまで一時避難なんで、帰れる人は帰ってくださいと。

結構うちらの場合はマンションが多いんで、戸建ての場合はつぶれたら帰ることもできませんけど、ちょっといがんぐらいやったら帰ってくださいという形で帰っていただこうと。

それから、小学校を一応本部として、帰れない方はそっちへ移っていただこうと。

物資は、おそらくその 4 つには、国からの物資が届かないと思うんです。

届くのは小学校ですよ。

○藤原防災・防犯担当課長

基本的には小学校中心になって。

○安川部会長

だから、帰れない方は小学校へ来てください。

それで各中学、信愛、産大、小学校も一応避難物資は置いてあると。倉庫があるということを知ってます。その鍵なんかもお預かりして、その担当会長にお渡ししてるというのが我々董のやり方です。ですから、各中学校もおそらく鍵は、今度また確認するわけですかね。

○藤原防災・防犯担当課長

そうですね。

各地域にですね、小学校中学校の鍵ですねお渡ししてる分についてですね。大体 3 セットずつぐらいですね、基本お渡ししてるんですけども、その鍵がちゃんと合うかとかいうのも含めてですね、今年の夏ですね、全セット確認させていただこうということでですね、ご案内させていただいております。またちょっと合わなければまたちょっとですね調整して対応していきたいと思ってるんですけれども、そういったことも計画しております。

○安川部会長

正直災害になって、役所に頼るのは無理だと思います。我々がやらんことには。共助でや

らないと。昼間ならまだ役所の方も駆けつけて鍵どうのこうのってあるやろうけど、夜間なんかですとやっぱり我々が、動かないことにはできないので、だから、私どもの場合はこの町会を4つに分けて、20町会ありますけどね、それを4つに分けて、一時避難はここやでという形で、徹底してますかね。

それも、各連合さんのお考えだと思いますけどね。

余談ですいません。

はい。吉川さん

○吉川委員

今ちょっとね、今のちょっとあれやけど、自助、共助、公助ってありますね。

公助とか、共助、非常に大切だと思います。でも自助、自助努力というのが大事だと思う。

土曜日の日にね、サミットがあったんですけど。

釜石先生という横浜から来た先生がきはってね。

ほんで、皆さん自助、避難所へ行くよりは、自分の家が一番安全ですよって。

城東区ではマンションがね、74%でほとんどの人がマンションやから。ドアが開かないようになったとしても、他の人もみんなね、そういうふうになってるから、自分のところで10日間生活できるように、いろいろ食料とかいろいろな生活用品をかう、そういうこともすごく勉強になったからね。

それを皆さんにもう役所役所人人と頼るんじゃなくて、まず、健康でできるんであれば、自助努力、それをするような啓蒙のパンフレットとかね。

まいて欲しいです。

やっぱり人にばかり頼っちゃいかんと思います。

やっぱり頑張って、自分もやらないと。

だから、こないだのすごい参考になってよかったです。

○藤原防災・防犯担当課長

いま、吉川委員に言っていただきましたように先週の土曜日ですね。

釜石先生に来ていただきまして、マンション防災と、在宅避難いうことをテーマにですね、ご講演いただきまして、やはり城東区も74%が共同住宅にお住まいというところで、マンションとかですと一定耐震性もございますので、日頃からですね、気をつけていただいて、例えばタンスとか倒れてこないように、ちゃんと突っ張りをするとかですね、そういった事前の備えをいただくことでですね、そのまま自宅で、そのまま生活ですね災害起きてもですね、生活いただけるということでしたらですね、それが一番生活しやすいと思いますし、実際城東区の、大体15%ぐらいの人がですね、避難されるというような想定になっておりますので、できる限りその在宅避難をしていただけた方がですね、その避難所に来られる方もどんどん人数が多くなればなるほどですねスペース的にも厳しくなってくると思いますので、そういう意味でもですね、自助いただくことが、共助にも繋がるということで、釜谷先生の話にもございましたので、意識していただければですね、大変ありがたいです。

○吉川委員

今までで一番よかったです私4回、常にね。

意識がすごくあるから参加させてもらったけど、こういうふうにしはるんやなど。皆さんやっぱり主張ばかりしちゃうでしょ、役所どうしてんねんとか。もちろんしてもらわんとはいけませんよ。

せやけど、自分たちもしないといけないと思います。

○安川部会長

はい。ありがとうございます。

では他に何かご意見ございますでしょうか。

○高平委員

非常によかった話というのがね。

マンションの方、無理に行かなくてもいいよということね。

一瞬えって思ったけど、でも話を聞いてると、そういうこともあんなんと。

ただ家がね、こんな傾いてるのにね、居なさいとはならないと思うんですよ。

ある程度いけるのであれば、おったらいいいよというのを言ってもらったことは、ちょっとね、私からすれば、そういう観点はあるんだなど。

もう1個ね、ポリ袋。

そういう使い方もあるのかと。

○吉川委員

作ってみましたよ。

10日分の料理も、お湯だけは沸かしたら、30分でご飯だけたりホットケーキ作ったり、食事もローリング式にね、もう使っていくんです。10日分だけストックするようにお米とホットケーキとかね、それからお風呂に貯めてるお水とか。私はペットボトル貯めてるんですね。

だからそんなふうにして自分たちがもし10日間、ここに籠城じゃないですけど、そうなったときにどうするかっていう

いろいろすごいよかったですよ。

○高平委員

お米が炊けるっていうのは思わなかった。カセットコンロがあって、あれを入れたら、ご飯ができるって絶対気持ち的に落ち着くんですよ、何も食べ物もないっていうよりも、あったかいご飯があれば、ここに居れるなちょっとぐらいはってね。あの袋別に宣伝するわけじゃないけどね

○吉川委員

かさばらないですしねそんな。

炊きたてのご飯やったら、チンとかしなくてはいけないとかだけだね。

○高平委員

そうですね。

あれで料理もできるしっていうんやから、1回しなあかんと思ってますけどね

○吉川委員

早速昨日やってみました。

いつ来るかわからへんからやっぱりできることはやろうということです。

○高平委員

もう一つ思ったのはね、災害が起こってからすぐコーナンに走ってカセットコンロ買うか、多分すぐ売り切れるから無理だと思うんです。日頃からちょっとぐらいいは用意しとかなあかんねんなあ、というのを改めてね、確かに家にもあります。

あるけども、使い古したものかもしれないから、ストックで置いとかなあかんねんなあと。それとこの袋は買っておこうかなと。話だと思います。

○藤原防災・防犯担当課長

ありがとうございます。

8日にも蒲生公園の方でもですね、ポリ袋クッキングを職員の方でやらしていただいて、ちょっとずつご試食いただいて、ご飯とかも、普通のね、炊飯器で炊くようなご飯で、おいしいおいしいと皆さん、ご試食していただきましたので、是非、ご家庭でもやっていただいで大体30分ぐらいですね湯せんすれば、はい。

それで、ご飯ができるというところになっておりますんで、釜石先生もおっしゃっておられましたけどもホットケーキミックスとかですね、あと、ご飯とか、それ以外の食材とかもローリングすれば、なかなかその備蓄物資を製品で売られてる分を買うっていうのはなかなか賞味期限の問題とかですね、ハードルが高いというところで取り組んでいただけたら非常にありがたいなと思っております。

また8日のですね、防災サミットの講演会の様子はビデオ撮影しまして後日YouTube城東チャンネルの方で、放映さしていただけることで、釜谷さんに了解いただきましたんで、またさしていただきますんで、もしご覧になりたいということでしたら、またご覧いただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

○安川部会長

何か他に、ございますか。

どうでしょうか。

○高平委員

もしなければ、もう一つよろしいでしょうか。

津波の際の避難ビルっていうことで、1番からザーッと出してあるこの冊子の中に名前が具体的に出ていますんですが、市営やURだとか、ダーッと見てて、例えばロイヤルマンションとか、ライオンズとか、そういうような民間のマンションとかは入ってないんですよね。やっぱ民間のマンションまで行って管理組合と話をして、なかなか了解がもらえなかったということで、入ってないというふうに理解してよろしいですか。

○藤原防災・防犯担当課長

そうですねホームページの方にもですね、城東区では水害時避難ビルというんですけれども、掲載させていただいてまして、5月時点で、83ヶ所ですね、165棟ですね、設定させていただいてます。

おっしゃるようにマンションさんですね。

鍵かけてですね、エントランスも入らないといけないようなところっていうのはですね、なかなか災害が起きたときに、ドアをどうするかとかですね入っていただくとなかなか難しいところもあって、なかなかハードルが高いところがあるんですけれども、幾つかは検討いただいでですね、表にも書いていますが、ファミリーハイツ城東さんですとか、タイムズピーススクエアさんとかは、駐車場が別棟になっておりますので、そちらの方で避難いただけるんでしたらということで、同意いただきましたし、ファミリーハイツさんは、入口のところがですね、そういった鍵とかが特にいらなくて入っていけるようなところということで、廊下部分で避難いただけたらということでご協力いただけたところでございます。

それで、そういった形で、そういうご協力いただける場所ですね、またここどうやろうというようなところですね、ございましたらまた言っていただけたら、その管理組合さんとかにお話させていただけたらと思っておりますので、また情報提供をよろしくお願いいたします。

○安川部会長

私も2年前ぐらいですかね津波の避難ビルのお願いに、前の課長さんと一緒に、スーパーなんか行っただけですけど、やっぱり早く駐車場だったらええよって言うてくれるところもあれば、いや、ちょっとそこまでは本部に聞かないとわかりませんとかいうてやっぱりお断りされたところも、やはり何件かありました。

だから、地域の方でここやったらどうですかいうことを役所の方にもお声がけいただいて、地域の会長さんなり、と一緒にいかれた方が、いいのかなとは思います。

なかなか役所さんだけじゃ難しそうですね

○藤原防災・防犯担当課長

地域の方にご協力いただけると、お店とかもですね、周りの地域の方も含めてお客さんなので、それやったら協力しようかなと言っていただけたところもあるかと思しますので、ぜひそういった形で一緒に行っていただけると、助かりますのでよろしくお願いいたします。

○高平委員

あとね、ちょっと気づけなあかんのは、半地下になってる駐車場というところがありますよね。

そこに大体車入ってると思うけども、水が上がったときに、そこで水が溜まってしまいうんです。避難することはたぶんないと思うが、ただ前にあったのが、うちの主人が車取りに行っただけで帰ってけえへんねんって行ったら、池になってました全部。

ご存じのように、マフラーからエンジンに水が入ったらエンジンかかりません。

ドアも開きません。

車の中から出られなくなってます。緊急出動で行ってボート出して、もう都会の真ん中でボート出してって中まで行って、やっと救出したということもありますんで、何か、皆さんのお話の中で、そういうところも危ない、当然人間が避難する場所でもないんでね、半地下というでそこら辺は、割と水がそこに入ってきてまして、排水能力が弱いから、だんだん溜まってきますね。

そういうところでちょっと気を付けないといけないのかなということで、ちょっとご紹介させていただきました。

○安川部会長

他にどなたかご意見はありますか。

まちづくりに関してのことでしたらいろんなことで、ご質問いただきましたら、

○荒木委員

鳴野はね、～町会から～町会は中学校、あとは小学校、って一応決めてるんです。今取り組んでいるのがその避難、中学校、小学校以外の、マンションや老人ホームにお願いしにまわっています。

ただ一人で避難できる方より、助けてもらわないとできない方がすごい多い。

そこをどうするかっていうのが、問題。

○藤原防災・防犯担当課長

個別避難計画の方もですね、今年度も更新という形で、各地域の方にご案内させていただいて、また来月ぐらいからですね、出していただく予定にはなっております。

おっしゃるようになかなか、1人世帯とかで動くのが不自由の方っていうのは、実際災害があったときどうするかっていうのはですね難しいところがあるかと思います。

また地域の方ですね、ちょっとこの人は気になるなというところで、ご協力いただける部分がございましたらですね、日頃からちょっと、交流していただきながらですね、対応いただけたら非常にありがたいなと思っております。

○安川部会長

他何かございますでしょうか。

○矢野委員

はい。

中浜の矢野と申します。

先ほど荒木委員の方から、要支援者対策っていうお話があって、今年、1度私ども中浜としては、防災訓練を11月24日に行います。

その中に要支援者対策の取り組みをしまして、正直なお話、寝たきりの方とかもいらっしゃるればその方をどうやって運び出すのかっていうのは大きな課題だと思います。

そういったところへの対策っていうのは今まだ足がかりの状況ではあるんですけども、1つ1つ、対策を立てようとしています。

今回は代理役の方を車椅子で運ぶというところにまでしておりますけれども、こういった状況なのかっていうことをしっかりと現場で把握をして、無線連絡をするといったような訓練もこれから進めていこうと思っています。

そういったことってというのはいろいろ情報共有っていうのはあって、こういったふうなやり方がいいのかっていうのはわからないところですし、正直なところかなり模索しながらやっていくことだと思うんですけども。

こういうことやってますよっていうような、そういう情報の共有の仕方。

こういう場所でまたいろいろ話ができればいいと思いますので、それぞれまた持ち寄れるようであれば、それぞれの課題等を話し合えばと思うので、そういった場所っていうのを、こういったところなんか別のところでも構わないと思うんですが 1 度、作っていただくというのも 1 つ案としていかがかと思います。

○藤原防災・防犯担当課長

要支援者の方に対する避難訓練ってのは非常に矢野委員もおっしゃるようになりますね、ハードルが高いということもございまして、1 人のそういった介助が必要な方を助けようと思えば何人の方がですね、一緒に運んだりということが必要で、またマンションとかのですね高層階に住んでおられる方は、もし下に、運び出すという必要があるということでしたら、エレベーターを動かないはずでしょうから大災害のときは。階段を使ってみんなで下してとかいうところを考えますとなかなか大変なところがあると思います。

ですので先ほども在宅避難の話がありましたけれども、そういったような支援が必要な方はできる限りですね、前もって準備とかしていただきながらですね、在宅で、避難できる相談していただくっていうのがですね、まず重要なんじゃないかなというところで、また訓練を中浜地域さんの方でやられると思いますので、そういったところも含めてですね、またいろいろ検討いただいて、またご意見いただけたらありがたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

○高平委員

訓練されるときにね、簡易担架なんか作る練習はやっていますか。

○矢野委員

今回はやろうとはしてます。

今回アドバンスト講習も 2 年に 1 回、防災リーダー、消防署の方来ていただいてやってまして、実際のところそういうところと、地域の中で、少し知識のある方がいらっしゃれば、簡易担架とかお持ちであればですね、ベルト式の担架とかあるので、そういうのを 1 度体験するとか、そういったようなことも、徐々にやっていこうと、みんながみんなできることではないと思うので、触れるときがあればそういう業者の方とかからお借りしたりとかして、やっていこうかっていうのは、今取り組みをしようとしてる、計画の段階なんですけども、そういう状況ですね、

○高平委員

簡易担架だってね、棒 2 本と毛布持ってきたところでいきなり作ることはいけませんよ。だから 1 回やってみて、落ちないように見てもらったらいいかなと思うんですよ。物干し竿ってなかなかないんですよね。難しいけども、ここはね。

もう 1 個多分本でも何でも言わないと思うんですけども。

物干し竿 2 本ですね、これ手で持ってもらいます。

服を後ろからザーッとめくるんだけど服だけで毛布の代わりになる。

これもね 1 回やってみるとね、でもこんな究極やから本にもどこにも載っていないと思いますけど。あんまりね、推奨もできないし。

だからね服もいいけども、いろんなもの使えます。

要するに、2 本あれば、足のところでもいい。

どうするんだといえば、後ろからずっと抜けば、そこできれいに毛布が出来上がる。

そういうのもやってみた方がね面白いなというのがあるんですよ。

それともう 1 個は、近くに大きなスーパーがありますか。

○矢野委員

あります。

○高平委員

スーパーでね、買い物をするのときのキャリアありますよね。

あれを使うんです。

ただね、それをあんまり言いすぎると、みんなバーツとですよ。

あれも使い方によったら、お尻を置いて足上げてきたら、よっぽど腰とか悪くない限りは運べるんですよ。

それを使えますよということね。

これもはっきり言ってあんまり推奨していません。だから足が悪いだとか、赤ちゃんとかそこにちょっと乗るくらいだったら、コロコロコロコロと押したら、使えますんで、簡易的なストレッチャーみたいな形で使えるということもちょっと含めてですよ。

近くに大きなスーパーがあるのだったら行ってみてね、これ、使い方によってはストレッチャーとして使えるで、というのも言っていただけたら

○矢野委員

ありがとうございます。

一応 6 人で、担げるショルダーがついてる担架があって、これは災害救助用っていうような状態なんですけどできたら 1 つ欲しいねって。結構値が張るものなので、なかなか手が出づらいんですけども、やっぱり防災の訓練とかでやっぱ 6 人 1 チームで救助に向かいなさいっていう話があったりするじゃないですか。

そうするとそういうグッズっていうのも、1 町会 1 つとはいかないまでも、1 地域 1 つぐらい、何かそういう推薦のものがあつたりとかするならば、配布っていう機会があつてもいいのかなと思います。

使い方とか学ぶ場所っていうのもなかなか今ないので、もっとこう啓蒙っていうと、大それたことのように大変なんで、いろいろと情報共有という形で今みたいな話だけでも、全然変わるんじゃないかなと。

○安川部会長

ほかに。はいどうぞ。

○岡本委員

防災無線ですけどね、城東区内にはいくつあるんですか。

○藤原防災・防犯担当課長

今、手元には資料がないのですが、各学校に、はいF C無線はですね、おかしていただいて、それで様子見するという形で

○岡本委員

それは各学校、校区ごとに1個はあるということですね。

○藤原防災・防犯担当課長

はい。

○岡本委員

いやまあねスマホとかいろんなことは若い方は対応できますけど。

防災無線でいろんな緊急の避難の案内とか、いうのは大事なことだと思うんですけども、私も防災無線を訓練で、聞いてますけどね、全然わかんないんですよ。

なんか言ってるなっていうことはわかるんですけどねえ。

ゆっくりしゃべっていただいているとは思いますが、しっかり耳を傾けても、何言ってるかよくわからないっていう部分は多々あるんで、何かもうちょっと良い方法。防災無線も大事ですけども、あのような類のもので、もう少しよく聞こえるような、時代の進歩の中であるんじゃないかなと思いますね、ちょっと防災無線のことを区としてはね、ちょっと検討してもらいたいなと思うんですけどね。

○藤原防災・防犯担当課長

防災無線もおっしゃるように、慣れないとですね、通信がしにくい。

携帯電話と同じように使うとですね、ちゃんと会話ができないというような形で、日頃からですね訓練とか、そういった場があればですね使っていただいて、慣れていただくというのが一番、

○岡本委員

僕が言っているのはスピーカーのことですよ

○藤原防災・防犯担当課長

あ、なるほど。失礼いたしました。

○岡本委員

だから全然聞こえないし。

その数も、やっぱり小学校区ごとにあるわけですか。

○藤原防災・防犯担当課長

はい、各学校でございます。

○岡本委員

ただそれもねえ。

私聖賢小学校区だけど、なかなかよく聞こえない

○安川部会長

正直学校のそばにマンションがあったら全く聞こえません。

選挙のときにね、学校で立ち会いするんですけど、防災無線たまたまなっても、なんか鳴っている、学校の中で、そんなもんですからね、正直聞こえない。

○藤原防災・防犯担当課長

聞こえないっていう方と、ちょっと音が大きすぎるといった場合もございまして、大阪防災アプリというアプリですね。

ここ1、2年ですね、携帯の方に入れていただいてという形でご案内させていただいてるんですけども、そちらの方に防災無線で流れた情報っていうのは、そちらの方で聞こうと思えばですね、聞けるという状況になっておりますので、もし入れていただけるのであれば、そちらの方で聞いていただけたらクリアに聞けるかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

○吉川委員

コンプライアンスのことについてお話してもよろしいでしょうか。

新しい課長さんに代わられたので牧課長さんにお伺いします。

○牧市民協働課長

お願いします。

○吉川委員

私もこの質問の中に書いたんですけど、コンプライアンスね、コミュニティ協会をね、市役所の中の窓口の中、中に入れながらね、あそこは治外法権やって言われたんです。役所からは何も言えないし、区長から見えないっていうけど、コミュニティ協会は、入札で入ってるでしょ、大阪市長からね、市長がやってるでしょ。

で、区役所に入ったら私ら一般市民はね、区役所の窓口の皆さんみんな公務員の方やと思うんです。

これ3年ぐらい前の話なんですけど、町会のことで相談に行ったらね、そしたら、その日は上司がおらんから、町会の会計の問題をちょっと聞きに行ったんです。

そしたら、頭ごなしに先回りしてね。町会長が言ってたんでしょうね。

だから、私ら行ったら私何を怒られているのかわからんけどガミガミガミガミ怒って今日は上司がおらんから、明日の15時にいらっしゃいと。

行ったら、後ろに行って、テーブル1つあって、当時あれがビニールがあったから、そこに2人来て、私らも2人で、そしたらまだ座りもしないのに、上司の方がね、頭ごなしにワ

ーッと言うんです。

だから私、いやあなたたち公務員と違うんですかって。

町会長も市民だったら私たちも市民ですって、平等に扱ってもらわないと困りますって言ったら、昨日偉そうに言っていた人が、いやそんなもんね、公務員と違いますわいう感じで言うんですね。そうですか。

それから、普通にしゃべるようになってる。今もいらっしゃる私も名前も覚えてますしね。そういうふうにしてほんで、その話をね、録音して、町会長に渡したりとか、ほんでここ事務だけしかね、しないっていう、そんなん私らも知ってます。

そのコミュニティ協会。せやけど、実際ね、町会の会計報告を見せてくれって言うただけで、全然見せてくれないんです。全然じゃなくてちょっとだけ見せるけど、もうひどい見せ方でこういうテーブル置いて周りに役員が、

○安川部会長

すいませんその会計報告は、ご自分の町会の会長さんですね。

ということは、コミュニティ協会とはまた別の話ですよ。

○吉川委員

同じです。

私が言いたいのはコミュニティ協会はね、事務、事務だけしかしないって

○安川部会長

コミュニティ協会はホールの管理だけなんです。

町会の関係は役所ですよ。

○吉川委員

町会の事務。

事務関係もやってるんです。

○牧市民協働課長

吉川委員。

今の、今までのところでお答えしても大丈夫ですか。

○吉川委員

はい。

○牧市民協働課長

おっしゃってる対象、コミュニティ協会なんですけども、今、部会長からもあったんですけど、同じコミュニティ協会なんですけど、区民センターの管理をしているっていう立場、同じ団体でも管理をしているという立場が1つあります。

あと、区の連合ですね、その集合体である区の地域振興会の事務局を受託しているということで、おんなじ団体でありながら2つのことを、しているという状態であります。

だから、会計的なこと、会計的な区の地域振興会各連合、各单位町会の支援は、市の業務としてはやってない

○吉川委員

もちろん。それはわかっています。

ただね、事務関係してるだけっていうのにな。うちはもうそれが見せないっていうことで、裁判にまでなったんです。

そしたら裁判費用は、町会から出したらええってね、コミュニティ協会の職員が指導しはったんです。だからそのように議事録出してみんなに配って、そして実際通帳からねお金もおろしてました。

といいうことなんですけど、もうそれには長いいろんなあれがあるんですけどね。

私はいろんなところにそういうふう言うてるんですけど、今回の回答何ってこれやったら私も知ってるって、もう1つ突っ込んだことできないかっていう感じで。

だから、入札してるんだから、やっぱりペナルティあってもいいと思うんです。

その職員に会わせてもらってもう1回ちゃんとお話はしますが、むしろ事実かどうか私が嘘なんか言わないからね事実しか。

○安川部会長

その会計は、吉川さんの住んでおられる町会の会計ですよ。

ということはコミュニティ協会が、お宅の町会の会計までは把握できてないのでは。

○吉川委員

会計を把握せって言ってるのと違います。事務しかなないっていうね。

コミュニティ協会がいちいち町会長が来たらね、ここ来てたよこんなんしてたらこんな言うてたよとかね、んでまだ裁判の裁判費用はね、町会費から出したらええとかいう指導をね、してこれ全部議事録に載せてみんなに配ってるんですよ。

鈴木委員がね、おんなじです。会計してはってんからずっと。

事実はよくわかってはると思います。

だから私もやっぱりおんなじ窓口におって、知らないなんて、一般市民わかりませんよ。私ね1回最近、国民健康保険のことよく本当に徹底して素晴らしいですね、わからないこと、私らみたいな、あほな人にでもね、ちゃんとわかるように説明してくれて納得して帰ります。皆さんとっても親切。

私も今まで何、長いこと言って何かいろんな区役所に行っているいろんなね、書類だけど、変に、こんなひどいね、コミュニティ協会がね、市役所の人だと思ってたから、こんな恐ろしいひどいねとこあるんやなと思って、めっちゃびっくりしました。

○安川部会長

だからコミュニティ協会、区役所の職員じゃないですから。

その辺は理解してやってほしいです。

○吉川委員

でも窓口立ってたらね。

窓口立ってたら皆さんそう思うし、だって入札して入ってるんやから、一応みなし公務

員じゃないんですか。みなしじゃないですか。

○牧市民協働課長

いやみなしではないです。指定管理者という立場です。業者ですよ。受託者ですね。

○吉川委員

でもね、やっぱりそれコンプライアンスのね、何て言うの、徹底してもらわないと駄目ですね。

だって、私は業者です。私は区役所の職員ですとかそんなもの貼ってないでしょ。

だって。区役所の窓口借りてるんやもん。思いませんか一般的に

○安川部会長

窓口を借りているわけではありません。

○吉川委員

安川さんねそういうふうには言わはるけどね、ほら仲が良いからそういうふうには言わはるんやと思いますよ。私はそんなことないと思う。

どなたに聞いてもらってもね、いや窓口に立ってたら、市役所の人と違うのと言いはりますよ。

皆さんほかの人思いませんか。職員と思いますか。

○牧市民協働課長

前回いただいたご質問、ご意見に対する回答という形で今回の資料にも入ってるんですけど、最後書かせていただいたように、区として行政として指導の権限はないです。指導の権限はないんですけど、この今日の、やりとりも含めて、皆さんの議論をお聞きしてですね、この今日の資料が、区のホームページがアップされるタイミングが近近であるんですが、そのときには、それがオープンになるタイミングに合わせてですね、コミュニティ協会の方にですね、こういう意見が区政会議の委員の方から出てますよという形で、自分がここに書いてある通り、指導というところまで踏み込めませんが、ちゃんと伝達してこういうこと言われてますよというのは伝わるように、対応します。

○吉川委員

もっと詳しく私は書けるんですけど、それを書いたのはね、この前の、区政会議の明くる日にすぐバーッと書いて思いつきじゃないけどパパッと書いて送ったものなんですけどね。だからぜひ、皆さん、紛らわしいから、そういうこと。徹底してもらわないとやっぱり

○牧市民協働課長

お答えに書いたことはちゃんと責任を持って対応しますはい。

○吉川委員

よろしくお願いします。

○安川部会長

ちょっとお名前が出た、同じ連合の鈴木さん何かご意見ございますか。

○鈴木委員

いや、別にないです

○吉川委員

私1回もお話したことないんです。

この件に関して、会計の説明もしてもらっていない。

○安川部会長

同じ連合なので何かそういう意見があるかなと思って聞いただけです。

○吉川委員

私仲間外れにされてますもん。私がこういうふう言うからね、皆さん知らないんですようちの町会の人全員。そういうふうにお金使途不明金がたくさんあるということがね、わかってはれへん。裁判までしたって言うけど、だっておんなじ人ばかりが役員してって、隠してるんで、私らがいったらこらせないように、回覧板が回ってきませんしね。

○安川部会長

そういうご意見ということで、他に何かございますでしょうか。

まちづくりの件に関しまして例えば地域でやっていることとか、区の方でこういうことがあればいいなとか、そういうふうなご意見でも結構です

○若林委員

すみません。

○安川部会長

どうぞ。

○若林委員

はい。

城東校下なんですけれども、城東校下の方でやはり防災の方、力を入れておりまして、女性部ということで、女性の力で防災、減災をしようというので、女性部が動いてます。

先ほどおっしゃられたみたいに、女性部の研修という形で、ビニールに入れて、ご飯を炊くっていうのもさせていただいて、それをするによって、その女性の方が、ご近所さんとか、或いはお寺の奥様とかがね、それを見られて、お寺にこられる方々にも教えてあげようとか、そういう形で広まっています。

それプラス、自助という形の中で、女性部は防災ポーチというのを作って、皆さんに配るとか持ちましょうという形にします。

その中には今日から皆、持ち歩くという形でね

これなんですけどね。この中に、アルミの毛布とか、或いは笛とか、飴ちゃんとか、あと、簡易トイレ、が入ってます。

それ以外では皆さんご自身ご自身で、薬とか湿布とか、緊急連絡先とか、思い思いでいいんですけれども、ほとんどこれ、100均で集まるんですよ、

これを女性部の方で、各町会の女性の方々に部長さんにお話して、各町会でもこういうのつくريしようということで決めさせていただいたり、先ほど言ったみたいな形で、お寺と

かで、城東校下の方では少しずつこういうのが広まっているということで、あと、先ほどから避難という形でお話があったんですけども、女性部の方でも、避難所開設、HUG っていうゲームがあってという部分を初めてこの前さしていただいたんですけども、自分たちで避難所を開設するためにはっていうゲームなんですけど、正解はなくて、1 回自分たちで避難所を開設してみましようみたいな形でやったんです。

やっぱりねまだ初めてのときっていうのは、なかなか誰もリーダーになりませんし、意見がまちまちだったんで、本当にもう、どんなことを開設しなきゃいけないとか、どんな問題があるか。

ですから、犬を連れた人が来ましたじゃあどこに行きましょう。

あと女性のトイレはどうしたらいいでしょう。

或いは先ほど言ったように要支援者で歩けない方とか、目の見えない方とか、或いは子供さん連れとか、避難所の中でもどの辺りいてもらおうとか、そういう部分も初めてこの前研修会で勉強させてもらいました、でも本当に 1 時間半だったんですけど、全然足りなくて、第 2 回第 3 回しようかって話をしてる形で、なんかやっぱり経験と、先ほどおっしゃっていただいたみたいな形で情報共有というか、聞くと、これをしようとかこれ大事だっていう形があると思うので、区の方でもされてたりとか、You Tube とか流れてると思うんですけども、末端といいますか本当一人一人との、口コミというか、そういう部分の方が広がりがあるかと思うんで、いろんな町内会の会議とか、町会長の会議とか女性部の会議というところで、こういう形とかこんなもありますよというのをどんどん投げかけていただいて、していくと、もう少し広がりとかあるんじゃないかなと思います。

○藤原防災・防犯担当

ありがとうございます。

今おっしゃっていただいた避難所運営ゲームを女性部の方でも、区社協の方とかと一緒にやっていただいているということでお伺いしております、

そういった形で、徐々に、なかなか全然やったことがないと、進行っていうのが難しいところがありますんで、そういった形で徐々に知っている人を増やしていただいて、それぞれの単位でやっていただけるとですね非常に避難所運営に向けてですね、こういった場合どうしたほうがいいのか、

○若林委員

いつ避難所開設かわからないですし、行ってどんなことがあるかっていうと全く分からないときに、カードがあって、カードにこんな人が来ましたっていうのを見ていくんですけど、犬連れてこられましたとか、泣く赤ちゃんがいる方とか、ちょっと足を痛めてらっしゃる方とかカードを取るごとにいろんな避難に来られた方がいて、そういう方々を入った方が順番にその避難所の設定した部屋に入れていくってわけにいかなくて、どうしようどうしようっていう形で皆さんすごく、右往左往されたりとか、でも、それぞれ意見が、この人がやっぱり優先すべきだ、この人はやっぱり優先すべきだっていうのがすごく意見があっても、どれ

も間違いじゃないんですね。

でもそういうことなら、やっぱりあるということを知っていくってことが、もし起こったときに、誰がリーダーかって、いる時といない時あると思うんで、解決していけるのかなと少し皆さんも勉強というか、これからいろんなことを経験していきますって話になってました。

○安川部会長

私の中の意見ですけれども。やはり、昼間、災害が起きた時、我々男連中ほとんどその地域からね、出てると思うんで、やっぱり女性とか中学生高校生が一番大事やと思いますんで。うちの連合も女性部が中心になって、いろんなこと、女性の目線で見ると防災地図を作ったりとかしてくれてますので、やはりその辺も大事なかなあと思います。

○若林委員

1つその時に感じたのは、救援といいますか、食事とか、或いはその救護というところに、その訓練のときに女性部が配置されるんですけども、実際そのときに物資を運ばなきゃいけないとか、その中でもそういう担当があるので、今の、多様性といいますか、男女別というものと、運ばなきゃいけないってこともあるので、女性はそういう介護とか補助の方っていう感覚もなく、もう少し、分けていただきたいなという気もします。

○安川部会長

多分力仕事はね。

なかなか難しいし、災害が起こってすぐにそういう物資を運ぶとか、いうことはまずできないと思うんで。

まずは避難を、女性なり、中学生高校生あたりがお手伝いいただいて、とりあえずその一時避難なり、をしてもらうというのが大事かなあと思います。

あと何かございませんでしょうか。

はいどうぞ。

○鈴木委員

東中浜ですけれども、一応中学生今、昼間とか多いということで、一応諏訪さんと連携して、中学校で防災教室、中学生対象に、応急処置とかそういうのをですね、数年やってまして今年も、一応やる予定はしてるんですけど、だから結構昼間いけるのが中学生が多いんで、

○若林委員

もう何回もされてるんですか。

○鈴木委員

3回ほどですね。

可搬式ポンプでも1回やりましたし。

水消火器とか、あとは応急処置とか、倒壊建物からの救出、そういうものを中学生に、一緒に勉強していくっていうのをやっています。中学校下なんで、東中浜と、諏訪さんと一緒。東中浜と諏訪さんと一緒に集まって。去年は中浜さんと、夜の防災訓練を中浜さんがやって

るということで。

○矢野委員

一昨年に共同で無線のやりとりだけでしたけども、やらせていただきました。

○鈴木委員

東中浜、中浜小学校の人でも東中浜に近いときは、もしかするとこっちに来る可能性もあるんで、その時に中浜さんと無線機でやりとりしてそれが届くかどうかっていう、そういった地域の連携とかも、やっています。

あと HUG もコロナ前からずっとやってたんですけども、コロナ前にやってたことがコロナになってしまったでしょう。

1 家族のマスでも結局コロナになると、間を空けないといけないってことで、結局収容人数が全然変わって、コロナなんで、受け付けの前に 1 回集まってもらって、熱を測らないと。

熱のある人を入口で分けるとかコロナバージョンの HUG って難しい。

収容人数も大分変わってるんじゃないですか。

その辺が結構コロナ明けでちょっと、ぐちゃぐちゃになりました。

○矢野委員

実際感染者対策でやったんですよ自分も。その時はもう隔離ですね、

○若林委員

まず熱を測ってもらうっていうのから始まったんですけど、でもそれ終わってからのことだったんでそこまで消毒液と熱を測るだけを基本としてしましたけど。

咳をした方が来たらどうするとかね、そういうのをどこの部屋にするとかってすごくね、開設するときに、考えました。

○矢野委員

結局、今は症状出ているとか出てないとか、その発熱しているかどうかとか、そういう基準って難しいじゃないですか。

だからそこら辺まで、どこまでやったらいいのかは永遠の課題かもしれないですよ。

○鈴木委員

HUG はやるたびにちょっとずつ変わっていく、答えがない

○若林委員

そうですね私も初めてでしたけど、カードの数がすごく多くてこういうことも起こるんだということだけで、それをどうしたらいいかって結論がなかなか出なかったんで、

○鈴木委員

もう何回かに分けてやってますけど。じゃないとなかなか終わらないんで。

○矢野委員

全部通してだったら HUG は 2 回ぐらいやらしていただいていたんですけど、ペットの問題とか、そこら辺っていうのはそれぞれ違う。

もう中浜はもう今、現状はもうペットはもう連れてこないでくださいがルールなんです。

○若林委員

まずルール決めの 1 つを決めなきゃいけないんですね、そのペットとか車で待機される方を入れるか入れないかとか、

○矢野委員

バスで 50 人とか外国人こられたときには区役所行けて言いましたよ。

現実にはそんなにないことも、あの中にはあって醍醐味で面白いですけど。

○若林委員

でも 1 回するごとにそういうことも起こるんだとかそういうことも考えなきゃいけないのかっていうことが少しずつ見えるというか

○鈴木委員

ただ答え合わせができないんでね

○若林委員

教えてくださった先生も答えはありません。

すべてが皆さんの、答えになりますからというお話だったんですけど

○鈴木委員

動線考えても結局その動線通りにできないですよ。

○若林委員

だからそういうがあるので、どこが一番いいのかっていう、どう答えというか、導くのはどうしたらいいのかっていうのが、誰に聞けばいいのかな。

○矢野委員

ルールっていうのがある程度周知されるっていうところで、大きなメリットあるかもしれないと思ってます。

うちはペットあかんのですよ、車もあかんのですよ、とそういうのがある程度浸透していくっていうのは、いいかなとは思いますがね。

○若林委員

ちょっとその、連合とか区とかの部分で、まずそこは決めなきゃいけないところが、いくつかあるってことですね。

○安川部会長

それではそろそろ時間が参りましたので、意見をちょっとまとめさせていただきますが、課長にかフォローするようなことはございますか。

一応今いただいたご意見の中で、一番最初に出ましたのが、小学校だけではなく中学校の避難場所も徹底したほうがいいんじゃないかなということが 1 点と、それから自助、公助、共助とありますが、やはり一番大事なのは自助であろう。

公助に期待するのは、やはりある程度の災害が落ち着いた頃ぐらいが公助あとはもう自助共助で、何日かは乗り切っていけないかんのではないかなということですね。

それと津波の避難ビルが現在城東区で 83 ヶ所あるということですが、各地域でも、マン

ション等にお声がけいただいて、避難ビルの了解を役所と地域とが一緒になって、お願いに上がるということが1点ですね。

それから、障がい者の避難についてということで、要援護者の避難方法等を検討していったらどうだと、いうことで、情報をできたら、皆さんと共有したいということがまず1点。

それから防災スピーカーが聞こえにくいと。これは正直、最近高い建物がたくさん建ってますんで、なかなかこれをどうのこうのいうことは、区としては難しいよな。聞こえにくいんじゃないかなというご意見。

それから城東校下さんの女性部さんの方では、防災ポーチとかいうのを作られて持ち歩いておられると。これを簡単に100均等でもつくれるので、皆さんにもちょっと紹介していきたいなということですね。

それから、中学生対象の防災訓練等も実施されてるということで、東中浜、中浜さん諏訪さんが共同で、中学生と一緒に避難訓練をされてるということ。

○矢野委員

避難訓練は1度東中浜さんとやらせていただいたんですけど、中学校はちょっとうちはやってない。

○安川部会長

そうですか。

○矢野委員

諏訪さんと東中浜さんで

○安川部会長

城東校下は諏訪さんと東中浜さんですね。中浜は？

○若林委員

城陽校下が城東、鳴野、中浜、森之宮

○安川部会長

諏訪さんと東中浜は？

○矢野委員

城中校下ですね

○安川部会長

北の方だから南の方が分からへん。すみません。

それから避難所開設にあたっては、病気の感染者等をどういうふうに、

○若林委員

その避難所開設に対するルールづくりというのはですね校区校区では、まず考えておかなきゃいけないことがある。

○安川部会長

ルールづくりが必要。

そのぐらいでいかがでしょうか。

○吉川委員

すいません。

○安川部会長

はい。

○吉川委員

私、ちょっとこれにもありましたけどね。

この会の目的っていうのは多様な意見を聴取するっていうのがね、大阪市の目的ですよ。

じゃあ意見をね、ピックアップして、裁量があるのは区長さんだと思うんです。

議長さんには何の裁量があるんですか。

今私、コンプライアンスのことお話したでしょ。

この前も言ったけど、この前それと補助金の話をしましたけどね、お話してくれない。

今も抜こうとする。議長の権限って何なんですか。

私は、この目的から言うたら皆さんの意見を全部ね、区長に報告するのが、議長のね、仕事やからどなたでもできるんちゃうかなと思って。裁量あるのは区長さんやと思いますよ。

あれ見てもらったら、規約ね。だから、おかしいんじゃないのって私は言うてる。

○安川部会長

今おっしゃってるのは、先ほどのコミ協がどうのこうのという話を区長に持ち上げろということですね、これ前回上げましたよね。

○牧市民協働課長

区長の耳にも入ってますね。

○吉川委員

私前日も、110 番の車の補助金のお金東中浜だけはね、集会所の隣に止めてるのにね。毎月ね

○安川部会長

それは、東中浜の問題であって、

○吉川委員

補助金。

いや、だからね、私言うてるのは補助金の話ですよ。

タイトル「補助金」でその項目として、こういうふうになってるって。

お金のこととかそういうことは言うてませんよ。私もそんな外れてないと思うんですよ。

このまちづくりの話のタイトルの中にね、コンプライアンスも入ってます。補助金も入ってます。みんな入ってると思うんです。

防災ばかり言うて。差し障りない程度に防災の話だけしてね、そんなんものすごく納得がいかないんです

だから議長、逆に聞きますけど議長さんってどんなことするんですか。裁量があるんですか。

○牧市民協働課長

発言。大丈夫ですか。すいません。

今おっしゃっていただいたご意見なんですけどね。

部会長が今こういう形で、このまちづくり部会の意見の集約として、確認してくださいと。

この後の本会で、出た意見こうでしたというまとめをしていただいたのですが、吉川委員からもありましたこの会ですね、目的って何なのっていうところなんです。

今日の会議は冒頭でも、うちの方からも申し上げたのですが、令和5年度、1年前ですね。

その運営方針に対して、評価を頂戴すると、というのが今日の目的なので、そういう意味で、その意見をピックアップさせていただいて、令和5年度の評価としてこういう意見が出て、次、6年度に向かってこうしたらええんちゃうかという評価はこうですっていう報告内容はこれでいいですねっていうのが部会長からのご発言でした。

○吉川委員

ちょっと理解できない。

タイトルはね、いろんな意見を聞いて、聴取するでしょ。

聞いたやつを皆さん、議長になれば、聞いたやつを全部メモ書きして、全部報告して、そのピックアップして採用するのは、区長さんの仕事そういうふうに私は規約を読んでいます。精査してきたからね。

いや、ほんだら議長さんの役割って何なんって思ったから、そういうふうに皆さんの話を聞いてまとめたりするんやったらね。

誰でもしなさいっていうのはできないと思いますけどね。

でも、やっぱり聞いて、この会の成り立ちから言うたらそういう感じになっていたからね。いやどなたでもできるし皆さんキャリアある人やからっていう感じだったの。

もともと会の目的を達成しないと駄目でしょ。今回は5年度の頃と違って説明ありましたか。

○牧市民協働課長

冒頭、議長から議長の立場でもありましたし、部会長の立場でも、今日の会議の趣旨としてはこうですよっていう説明をさせていただいた上で会議が進行しています。

○吉川委員

そうですか。

○牧市民協働課長

吉川委員が先ほどおっしゃったご意見については、その意見をいただいて自分が返答させていただいた通りですね。

指導の立場にはないけども、ちゃんと皆様にお渡しした資料がオフィシャルに公表されるタイミングに合わせてですね、おっしゃっている対象のコミュニティ協会についてはこういうご意見が出ていますよっていう伝達はしに行きますので、その辺は牧に預らせてくだ

さい。

○吉川委員

はい。よろしくお願いします。期待しておきます。

○安川部会長

それでは一応これで部会の方は終了させていただきたいと思います。

以上、まとめた内容は後程、本会で報告させていただきます。

どうもありがとうございました。